

令和5年第28回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年10月5日(木) 午前11時15分～午後2時40分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 雲田警務部長 山本首席監察官 笠田生活安全部長
加藤刑事部長 前田交通部長 岡山警備部長
植木警察学校長 坂口情報通信部長

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐)

3 議題事項

警察職員の援助要求(警備部)

4 報告事項

- 警察署代表電話等への音声ガイダンスシステムの導入(警務部)
- 各種大会報告(警務部)
- 「警察版コミュニケーション支援ボード」贈呈式の開催(生活安全部)

(1) 警察署代表電話等への音声ガイダンスシステムの導入(警務部)

警察本部

音声ガイダンスシステムは、外線着信時に機械音声で自動応答し、架電者が案内に応じた番号を選択し、設定された内線番号に電話が転送されるものである。県下全ての警察署及び当直時間中の警察本部総合相談電話への導入を考えてい

る。

なお、当直時間中の総合相談電話については、応答のみで転送せず、急ぎの場合は、110番や警察署、警察本部代表電話に架電するよう案内をして断電する。

導入効果として、執務時間中の電話交換業務の合理化、効率化が図れるほか、本部当直員の負担軽減及び本来の当直業務への専念ができるようになると考えている。また、警察署への架電者にとっては、用件に応じた担当者に直接つながることによる利便性の向上が期待される。

予算に関しては、令和6年度の運用開始に向けた措置を検討しているところ、交番・駐在所の加入電話を廃止することにより削減される通信費を充てることを見込んでいる。

8月に実施した鳥取警察署における試行運用では、ファックスの受信ができない場合があることが判明したため、電話回線とは別にファックス回線を引くこととし、その回線料についても予算要求に計上している。また、視覚障がい者の方からボタン選択が難しいとの意見があったことから、ボタン選択をしなくても交換につながる旨を最初に案内することとし、対応したいと考えている。

本件は、これまで県警察内において検討・協議をさせていただき、導入に関して反対意見なく承認された。今後は、令和6年度導入に向け、引き続き関係所属と検討を継続していく。

委員

既に音声ガイダンスシステムを導入している県はあるか。

警察本部

既に導入している県があり、効果があったと聞いている。

委員

業務の合理化、効率化が図られるということで、スムーズに導入できるよう関係所属と検討していただき、令和6年度の導入に向けて進めていただきたい。また、県民へのわかりやすい周知も願います。

委員

交番・駐在所の加入電話を廃止するということが、これは地域住民に不便が生じないか。

警察本部

交番、駐在所は、警ら等で不在にすることが多いため、警察署で電話を受ける方が効率的であると考えている。

委員

音声ガイダンスシステムを導入したことが住民の方にしっかりと伝わるように

広報をお願いする。

委員

音声ガイダンスシステムは民間企業でも多く利用されており、いろいろな意見があると思うが、担当者に直接つながるのはよいことだと思う。鳥取警察署で試行運用し、問題点を加味しながら進めており、非常によい進め方であると思う。

外国の方など、日本語を話せない方への対応はどうなるのか。

警察本部

日本語を話せない方への対応については、今回のシステム導入とは別に検討していく必要があると考える。

委員

今後、インバウンドにより、日本語を話せない方に対応する場面が増えてくると思うので、検討をお願いする。

(2) 各種大会報告（警務部）

警察本部

先月、中国四国管区内警察柔道大会・剣道大会が開催され、柔道男子団体戦は9県中8位、剣道男子団体戦は9県中4位という成績だった。剣道女子個人戦は3人が出場したが、それぞれ初戦敗退となった。

次に、近く出場を予定している4つの大会について報告する。1つ目は、10月5日、香川県高松市において、令和5年度中国四国管区内警察逮捕術大会が開催される。この大会は男女混合の団体戦で、県警察からは、選手として10人が出場する。2つ目は、10月23日、24日、東京都日本武道館において令和5年度全国警察柔道・剣道大会が開催される。この大会では、県警察から、柔道男子団体戦に8人が、剣道男子団体戦に7人が、剣道女子団体戦に3人が出場する。3つ目は、10月21日、22日の両日、広島県つつがライフル射撃場において、2023年度全日本ライフル射撃競技選手権大会が開催される。この大会には、県警察から2人が出場する。4つ目は、10月6日から10月16日までの間、鹿児島県内において、特別国民体育大会が開催され、この大会に県警察から5人が出場する。

委員

精強な鳥取県警察であるため、自分の持っている力を十分に発揮して、各種大会に活躍していただきたい。

委員

大会結果については、残念であった。敗因を分析し、次に生かしていただきたい。このような大会への出場は、人間力を鍛えるという意味もあるところだが、選手の方々は、上位を目指して、しっかり頑張っていたいただきたい。

委員

このような大会を通して、心技体を鍛えることができ、警察業務にも生きてくると思う。選手の方は、精一杯頑張っていたいただきたい。

(3) 「警察版コミュニケーション支援ボード」贈呈式の開催（生活安全部）

警察本部

「コミュニケーション支援ボード」は、話し言葉によるコミュニケーションのバリアフリーを進めるツールの1つであり、話し言葉によるコミュニケーションが困難な障がいのある人や外国人との意思疎通を図る際のサポートツールとして、イラストを指さしながら用件、要望を確認するものである。「警察版コミュニケーション支援ボード」は、遺失・拾得や迷子など警察用務に特化した内容になっている。

「警察版コミュニケーション支援ボード」は、公益財団法人明治安田こころの健康財団が、訪日外国人の増加が目立ち始めた平成28年に初版を制作され、全国警察に寄贈されていたが、コロナ禍で落ち込んだ訪日外国人が回復する中、外国語表記にベトナム語を追加して6か国語に対応し、事例の内容イラストを増やすなど、内容を充実させた改訂版をこの度制作され、全国警察に贈呈されることとなったものである。

県警察への贈呈式は9月26日に開催され、明治安田生命保険相互会社の八矢鳥取支社長から、A3版、A4版、カード版の3種類のコミュニケーション支援ボード合計630枚を寄贈していただいた。寄贈されたコミュニケーション支援ボードは、各警察署の交番・駐在所、パトカーに設置、地域警察官に配布するなど、活用していくこととしている。

委員

日本を訪れる外国の方も多くなってきているので、警察官の方は、コミュニケーション支援ボードを業務にしっかり活用していただきたい。

委員

大変便利なコミュニケーション支援ボードが寄贈されたと思う。鳥取県内もいろいろな外国の方が来ておられると感じている。カード版が寄贈されているが、警察官の方は、いつも携帯して、必要なときに活用していただきたい。

委員

コロナ禍で一度、来日される観光客数は落ち込んだものの、今後、インバウンドで増加が予想される。日本に来られる外国の方は、日本が安全な国だと思い、選んで訪日されていると思う。困った時に、このようなコミュニケーション支援ボードなどを使って対応してもらおうと、日本に対する信頼もより高まると思う。非常に素晴らしいものを寄贈していただいたと思うので、しっかりと活用していただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 報告事項

- ・ 開示請求に係る審査請求の審査会からの答申（2件）
- ・ 信号機に代わる交通安全対策の実施
- ・ 令和5年度境港港湾危機管理テロ対策訓練の実施

4 決裁

審査請求の裁決（2件）

5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。